

## IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo)

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。適用できる注文関連文書には、お客様の発注に関する価格設定および追加的な詳細情報が記載されています。

### 1. クラウド・サービス

IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo) は企業資産管理ソリューションであり、以下のプロセスおよび機能を含むか、またはサポートします。

- 企業資産管理 – 資産のライフサイクル全体にわたる、資産およびロケーションのデータの追跡と管理
- 作業管理 – 最初の要求から完了および記録までの、計画的作業アクティビティおよび計画外作業アクティビティの管理
- 契約管理 – 購買契約、リース契約、レンタル契約、保証契約、作業員の支払単価契約、ソフトウェア契約、基本契約、包括契約、およびユーザー定義契約のサポート
- 在庫管理 – 在庫に関連する資産の詳細 (数量、ロケーション、使用、および価値を含む) の追跡と管理
- 調達管理 – 直接調達や在庫補充など、調達にかかわる全工程のサポート
- サービス管理 – サービス・オフリングの定義、サービス・レベル・アグリーメント (SLA) の確立、サービス・レベルの提供状況のモニタリングおよびエスカレーション手順の実装

IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo) は、レポート、テンプレート、ユーザーの役割およびセキュリティ・グループ機能を含む基本コンテンツとともに提供され、特定のシステムの統合に対するサポートを可能にし、アプリケーションの構成を支援するツールを提供します。IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo) には、「実稼働インスタンス」および「非実稼働インスタンス」がそれぞれ 1 つ含まれます。パフォーマンス上の理由から、30 人を超えるユーザーが、直接間接を問わず、いかなる方法 (例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて) でも非実稼働インスタンスを同時に使用することはできません。

#### 1.1 オフリング

お客様は、利用可能な以下のオフリングから選択することができます。

##### 1.1.1 IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo)

IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo) は企業資産管理ソリューションであり、以下のプロセスおよび機能を含むか、またはサポートします。

- 企業資産管理 – 資産のライフサイクル全体にわたる、資産およびロケーションのデータの追跡と管理
- 作業管理 – 最初の要求から完了および記録までの、計画的作業アクティビティおよび計画外作業アクティビティの管理
- 契約管理 – 購買契約、リース契約、レンタル契約、保証契約、作業員の支払単価契約、ソフトウェア契約、基本契約、包括契約、およびユーザー定義契約のサポート
- 在庫管理 – 在庫に関連する資産の詳細 (数量、ロケーション、使用、および価値を含む) の追跡と管理
- 調達管理 – 直接調達や在庫補充など、調達にかかわる全工程のサポート
- サービス管理 – サービス・オフリングの定義、サービス・レベル・アグリーメント (SLA) の確立、サービス・レベルの提供状況のモニタリングおよびエスカレーション手順の実装

IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo) は、レポート、テンプレート、ユーザーの役割およびセキュリティ・グループ機能を含む基本コンテンツとともに提供され、特定のシステムの統合に対する

るサポートを可能にし、アプリケーションの構成を支援するツールを提供します。IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo) には、「実稼働インスタンス」および「非実稼働インスタンス」がそれぞれ 1 つ含まれます。パフォーマンス上の理由から、30 人を超えるユーザーが、直接間接を問わず、いかなる方法 (例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて) でも非実稼働インスタンスを同時に使用することはできません。

## 1.2 オプション・サービス

### 1.2.1 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Non-Production

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Non-Production は、第 1.1.1 項に記載されている基本サービスに含まれているものを超える追加の非実稼働インスタンスをプロビジョンするための機能をお客様に提供します。パフォーマンス上の理由から、30 人を超えるユーザーが、直接間接を問わず、いかなる方法 (例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて) でも非実稼働インスタンスを同時に使用することはできません。

### 1.2.2 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Non-Production Capacity Add-On

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Non-Production Capacity Add-On は、IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Non-Production Instance の 1 つの「インスタンス」のサイズが拡張され、追加の 30 人のユーザーが、同時に当該インスタンスにアクセスできるようになるオプション・サービスです。

### 1.2.3 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Scheduler

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Scheduler は、IBM Maximo Asset Management 向けのエンドツーエンドの作業管理ツールです。これにより、プランナーおよびスケジューラーは、ガント・チャートでグラフにより表示されたワーク・オーダーおよび予防保守のスケジュールを閲覧し、正確で意味のある作業スケジュールを作成するために必要な、重要な要素にアクセスできるようになります。また、Maximo の作業管理プロセス全体の簡素化に取り組む、スーパーバイザー、ディスペッチャー、およびフィールド技術者のニーズにも対応しています。

### 1.2.4 IBM Enterprise Asset Management on Cloud Flex (Maximo)

IBM Enterprise Management on Cloud Flex (Maximo) は、「クラウド・サービス」環境内のカスタマイズ、および IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo) を管理するための追加サポートをお客様に提供します。これには、以下から選択できるサポートが含まれます。カスタマイズ、第三者アプリケーション、オプションのデータベース導入、カスタム・クラスの導入および「シングル・サインオン」(SSO)。

### 1.2.5 IBM Enterprise Asset Management on Cloud Flex Full Access Development Environment (Maximo) Non Production Add-On

IBM Enterprise Asset Management on Cloud Flex Full Access Development Environment (Maximo) Non Production Add-On は、お客様に開発目的の「非実稼働」インスタンスおよび拡張アクセスを提供します。これには、開発作業をサポートするための拡張アクセス・レベル、データベース・アクセスおよび SQL ツール、BIRT レポートの開発、コードを導入および maximo.ear ファイルを再構築/再導入する機能、ならびに Websphere コンソールへのアクセスが含まれます。

### 1.2.6 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud for Managed Service Provider Add-On

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud for Managed Service Provider Add-On は、お客様が顧客、請求計画表や価格表を含む顧客との契約、サービス・デリバリー、サプライヤーとの契約、およびお客様への請求を管理できるようにするものなど、Service as a Business (SaaS) アプリケーションのスイートを提供します。このアドオンは、Service as a Business をサポートし、許可ユーザーのみがその顧客の情報を表示できることを保証します。

### 1.2.7 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Calibration Add-On

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Calibration Add-On は、較正対象資産を管理するためのソリューション、およびそれらを較正するのに使用する標準を、追跡可能性および逆追跡可能性、較

正履歴データ、較正データ・シート、ならびにレポート作成機能などのフィーチャーとともに提供します。

### **1.2.8 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Health, Safety and Environment Manager Add-On**

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Health, Safety and Environment Manager Add-On は、安全性、信頼性、遵法性の向上において企業をサポートします。このソリューションは、作業、担当者、安全、健康、および環境などの領域にわたる事故を報告するための重要なアプリケーションを提供します。

### **1.2.9 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Linear Asset Manager Add-On**

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Linear Asset Manager Add-On は、線形資産の管理を含めるために IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud の機能を拡張することで、動的セグメンテーションを活用して線形資産の範囲にわたる特性の変化を可能にします。

### **1.2.10 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Spatial Asset Management Add-On**

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Spatial Asset Management Add-On は、ユーザーが IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud 内で地理情報システム (GIS) の情報を表示できるようにします。このアドオンは、作業、資産、および土地ベースのフィーチャーについて地理空間的状况を提供します。

### **1.2.11 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Transportation Add-On**

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Transportation Add-On は、運輸資産に対するエンタープライズ・アセット管理のプラクティスをユーザーに提供します。運輸資産には、自動車、トラック、バス、機関車、鉄道車両、航空機、船舶、および関連する線形資産 (送電線や幹線道路など) のすべてが含まれます。

### **1.2.12 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Aviation Add-On**

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Aviation Add-On は、航空機関連のスケジューリング機能および管理機能を航空機産業の組織に提供します。

### **1.2.13 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Life Sciences Add-On**

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Life Sciences Add-On は、工具、機器、施設、モバイル、および IT 資産を単一プラットフォームで監視、追跡、ならびに管理する機能をユーザーに提供します。

### **1.2.14 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Nuclear Add-On**

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Nuclear Add-On は、単一プラットフォーム経由で資産ライフサイクル管理を提供します。

### **1.2.15 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Oil and Gas Add-On**

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Oil and Gas Add-On は、単一の統合プラットフォーム上で、生産・製造設備、施設、輸送、およびインフラストラクチャーの資産を管理する機能をユーザーに提供します。

### **1.2.16 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Utilities Add-On**

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Utilities Add-On は、単一プラットフォームとデータベースを経由して、複数の作業および資産管理を管理するための統合ソリューションを提供します。

### **1.2.17 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Asset Configuration Manager Add-On**

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Asset Configuration Manager Add-On は、資産の構成と資産のコンポーネントの耐用年数についてリアルタイムの計算を提供します。

### **1.2.18 IBM Enterprise Asset Management Anywhere (Maximo) on Cloud**

IBM Enterprise Asset Management Anywhere (Maximo) on Cloud は、IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud のユーザー ID を持っていないお客様に、カスタマイズ可能なインターフェースを経

由して、モバイル・デバイスからのみ利用可能な IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud のプロセス、作業、および資産管理に対するリモート・アクセスを提供します。

### 1.2.19 IBM Enterprise Asset Management Anywhere (Maximo) on Cloud Add-On

IBM Enterprise Asset Management Anywhere (Maximo) on Cloud Add-On は、IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud のユーザー ID を持っているお客様に、カスタマイズ可能なインターフェースを経由して、モバイル・デバイスからのみ利用可能な IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud のプロセス、作業、および資産管理に対するリモート・アクセスを提供します。

### 1.2.20 IBM Maximo APM – Asset Health Insights SaaS

IBM Maximo APM – Asset Health Insights SaaS は、信頼性エンジニアや保守スーパーバイザーが、資産の健全性をよりよく理解できるようにします。IBM Maximo APM – Asset Health Insights SaaS は以下の機能を備えています。

- 重要な要素 (残存耐用年数、保守および故障の履歴、期限の切れた予防保守、ならびにメーターおよびセンサーのリアルタイム情報と履歴および天候に基づく条件など) に基づいて資産の健全性を定義し、正規化する機能を提供する。
- 信頼性エンジニアおよび保守スーパーバイザーのために、事業資産の健全性に関する情報 (資産の履歴、資産のリアルタイムのセンサー・データおよびその履歴を含みます。) を集約する。
- 所在地、階層、または資産クラスごとに事業資産を理解する機能をユーザーに提供し、重要な資産の健全性をあらゆる角度から理解できるようにする。
- IBM Watson Internet of Things Platform に加えて、天候の現況および履歴などのその他の情報源を用いて、リアルタイムの情報および分析を活用する。

こうした一連の機能は、同じ結果を得るための異なるいくつかのツールの複数のビューを使用する必要なしに、Maximo システムの一部として単一のビューを提供します。

IBM Maximo APM – Asset Health Insights SaaS は、レポート、テンプレート、ユーザーの役割およびセキュリティ・グループ機能を含む基本コンテンツとともに提供され、特定のシステムの統合に対するサポートを可能にし、アプリケーションの構成を支援するツールを提供します。

### 1.2.21 IBM Maximo Asset Management Scheduler Plus on Cloud

IBM Maximo Asset Management Scheduler Plus on Cloud は、Maximo Asset Management 向けの高度な作業管理ツールで、Maximo Scheduler の機能を拡張して、広大な地理的範囲、または天候が資産の可用性の重要な要因として作用する環境で、ユーザーが大規模なプロジェクト (シャットダウン、停止、およびターンアラウンドなど) および計画保守や計画外の保守を管理できるようにします。この Maximo に組み込まれたソリューションを使用すると、1つの基幹システムを使用して、エンドツーエンドの作業管理を実現できます。

IBM Maximo Asset Management Scheduler Plus on Cloud の機能には以下が含まれます。

- Customer Appointment Booking アプリケーション。「カスタマー・サービス担当者」が、顧客および技術者の対応の可否、ならびに予約の設定が必要な日の天気予報を考慮に入れて、予約のスケジュールを設定できるようにします。
- 簡素化されたインターフェース。ユーザーは、複雑なワーク・オーダー間の関連性をモデル化し、異なる親ワーク・オーダーに基づくタスク間、またはタスクと異なる親ワーク・オーダー間の依存関係を、グラフによってたやすく管理することができます。

The Weather Company の気象データとの統合。ユーザーは、作業の計画、スケジュール設定、および割り当てを行う際に天候を考慮に入れ、気象事象に基づく変更に対応することができるようになります。これには、気象データの設定機能が含まれ、ユーザーは、Graphical Scheduling、Graphical Assignment、および Graphical Appointment Book アプリケーションで表示させたい属性を設定することができます。

### 1.2.22 IBM Maximo Field Workforce Management on Cloud

IBM Maximo Field Workforce Management on Cloud バンドルには、上記の IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Scheduler、IBM Maximo Asset Management Scheduler Plus on Cloud、IBM Enterprise Asset

Management (Maximo) on Cloud および IBM Enterprise Asset Management Anywhere (Maximo) on Cloud Add-On のフィーチャーおよび機能が含まれます。

### 1.2.23 IBM Enterprise Asset Management on Cloud Flex (Maximo) Adapter for Oracle Applications

このオプション・サービスには以下のフィーチャーが含まれます。

- Maximo と、「総勘定元帳」、「購入」、「在庫」、「人材」および「プロジェクト」などの Oracle E-Business Suite のモジュール (通常は、Maximo と統合されるもの) の間で実行可能な統合。
- 追加のプログラミングが不要なビジネス・シナリオ・ベースの実装。たとえば、お客様は、プログラムが購入機能を管理する際のベースとなる統合取引を実装するためのアダプターを容易に構成できます。
- お客様のビジネス要件に応じた統合を採用したり、拡張したりするための画面主導による統合の構成、カスタマイズ、および導入の施設。
- 監査、リカバリー、通知および管理に関する組み込み設備。

このサービスは、IBM Enterprise Asset Management on Cloud Flex (Maximo) 環境でのみ使用できます。

### 1.2.24 IBM Enterprise Asset Management on Cloud Flex (Maximo) Adapter for SAP Applications

IBM Maximo Enterprise Adapter for SAP Applications は、お客様の SAP システムを用いて資産および作業の管理プロセスを管理します。このアダプターは、Java Message Service キューおよび SAP NetWeaver Process Integration を通じて取引メッセージを処理します。このアダプターは、お客様が統合のいずれかのサイドにおいてデータを変更する際、クライアントが統合ポイントを構成する方法やカスタマイズする方法によりますが、システムも更新します。

このサービスは、IBM Enterprise Asset Management on Cloud Flex (Maximo) 環境でのみ使用できます。

### 1.2.25 IBM Maximo Network on Blockchain

IBM Maximo Network on Blockchain は、Maximo での資産および作業の管理プロセスを可能にし、IBM Blockchain サービスを使用して、セキュリティー保護された不変かつ包括的なデジタル業務台帳によりビジネス・ネットワークの参加者とデータを共有します。

本サービスでは、IoT-Blockchain Service および IBM Blockchain Integration を通じたセキュアな Java Service のキューにより、Maximo の資産およびプロセスに関連するトランザクション・メッセージを処理します。このサービスは、お客様または参加者が統合のいずれかのサイドにおいてデータを変更する際、お客様が統合ポイントを構成する方法やカスタマイズする方法に応じてシステムを更新します。

IBM Maximo Network on Blockchain には、IBM Maximo Network on Blockchain アプリケーションを開発および構築して、接続されたデバイスやソリューションをテストし、PoC (概念実証) を実行するために使用される、IBM IoT Blockchain Service の「非実稼働」インスタンスが 1 つ含まれています。非実稼働環境の「インスタンス」はそれぞれ、毎月最大 400 の「デジタル・メッセージ」をサポートできます。

技術的な前提条件として、IBM Maximo Asset Management 7.6.0.9 (またはこれ以降のバージョン) または IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo) が挙げられます。IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo) は、IBM Enterprise Asset Management on Cloud Flex (Maximo) 環境でのみ使用できます。IBM Blockchain Platform Service Enterprise Membership が本「クラウド・サービス」の技術的な前提条件となり、以下で取得することができます。<https://console.bluemix.net/catalog/services/blockchain>

### 1.2.26 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) On Cloud Add-on Capacity for Production

最大 4 コアおよび最大 32GB RAM を備えた追加 UI サーバーを 1 台追加することにより、Add-on Capacity の「インスタンス」ごとに「実稼働」環境の水平方向のサイズを増やすことができます。

### 1.2.27 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) On Cloud Baremetal Server Deployment

どの SaaS 環境も、デフォルトで、「仮想サーバー」を使用して導入します。これにより、代替サーバー構成オプションが提供されます。Bare Metal Server Deployment のデフォルト・サイジングは、32 GB RAM を備えた 1 つのクアッドコア・プロセッサです。必要な場合には、複数を使用して、より大規模な Bare Metal Server Deployments を構築することができます。

### 1.2.28 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) On Cloud Add-on Capacity for Flex Enhanced Access Development Environment

追加の「Java 仮想マシン」を可能にするために、Add-on Capacity の使用許諾ごとに 1 つの Enhanced Access Development Environment のサイズを増やすことができます。この追加キャパシティを 1 つの環境用に構成すると、別の環境へ移転することはできません。これは、IBM Enterprise Asset Management on Cloud Flex (Maximo) にのみ適用されます。

### 1.2.29 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) On Cloud Add-on Reporting Database

Add-on Reporting Database の使用許諾ごとに 1 つの Database サーバーを追加することができ、お客様の環境データベースの 1 つは、それに照らしてレポート作成ツールを実行する目的で、追加された Database サーバーに複製できます。

### 1.2.30 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) On Cloud SFTP Accounts

この「セキュアなファイル転送プロトコル」(SFTP) サーバー・アカウント (SFTP Account) の「クラウド・サーバー」は、セキュア・シェル (SSH) データ・ストリーム上でのデータ・アクセスおよびデータ移転を促進します。SFTP Account を使用して、トラブルシューティングおよび開発の目的で、お客様の環境上でログ・ファイルを表示することもできます。各 SFTP Account は別個のインスタンスになります。最大 5 つの SFTP Account を作成できます。

### 1.2.31 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) On Cloud Add-on VPN IPSec Tunnel

1 つの IPSec サイト間 VPN トンネルを使用して、セキュアな「IPSec ゲートウェイ」間のトラフィックを暗号化します。VPN IPSec Tunnel は、お客様のネットワークおよび「クラウド・サービス」間のサイト間トラフィックを可能にします。これを利用して、特定の統合、読み取り専用データベース・アクセス、LDAP 同期、および HTTPS/SSL 上で実行できないその他の通信をサポートできます。

### 1.2.32 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) On Cloud IP Whitelisting

IP Whitelisting 使用許諾ごとに、お客様が定義して承認したリストに掲載された信頼できる IP アドレスまたは IP 範囲からのみ、特定の環境への構成済みアクセスを提供します。

### 1.2.33 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) On Cloud Enhanced Disaster Recovery Add-on

本「クラウド・サービス」により、お客様は、1 時間の「目標復旧時点 (RPO)」および 12 時間の「目標復旧時間 (RTO)」をサポートするよう Disaster Recovery を構成できます。「クラウド・サービス」には、1 次データセンターから有効化されるデータ複製と共に、2 次データセンターにある 1 台のアプリケーション・サーバーおよび 1 台のデータベース・サーバーが含まれます。

### 1.2.34 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) On Cloud Availability SLA for Non-Production Systems

Availability SLA for Non-Production Systems により、お客様は、PoE に定められ、かつ第 3 条に記載されているとおりに、IBM の「サービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。)」を、特定の非実稼働環境まで拡張します。この譲渡不可能なアドオン SLA は保証ではありません。

## 2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa>) に公開。「DPA」のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」)にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。DPA は、i) EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR)、または ii) <http://www.ibm.com/dpa/dpl> に記載されているその他のデータ保護法が適用される場合に、その適用範囲に限り、「コンテンツ」に含まれる個人データに適用されます。

**IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo) のデータ・シート:**

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=91E58490BC4911E499F1528B5A128231>

## IBM Maximo Network on Blockchain のデータ・シート:

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=9EA95BD0A5AB11E88A70560C75A2DCDE>

### 3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

#### 3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック ([https://www.ibm.com/software/support/saas\\_support\\_overview.html](https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html)) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

\*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

#### 3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート (サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど) を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

## 4. 料金

#### 4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「許可ユーザー」とは、直接または間接のいかなる方法においても (例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて) 「クラウド・サービス」へのアクセス権限を付与されている特定のユーザーを指します。
- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成への各アクセスを意味します。
- 「同時ユーザー」は、いずれかの時点で、直接または間接のいかなる方法においても (例えば、多重化プログラム、デバイス、またはアプリケーション・サーバーを通じて)、「クラウド・サービス」に同時にアクセスするユーザーの数になります。複数回「クラウド・サービス」に同時アクセスしているユーザーは、1人の「同時ユーザー」としてカウントされます。
- 「アイテム」とは、「クラウド・サービス」の利用により管理、処理される、または「クラウド・サービス」の利用に関連する特定のアイテムが1回発生することをいいます。
- 「アセット」とは、「クラウド・サービス」がアクセスまたは管理する、一意に識別される価値のある有形のリソースまたは項目をいいます。
- 「デジタル・メッセージ」は、「クラウド・サービス」により管理または処理される電子的なコミュニケーションです。

## 5. 追加条件

2019年1月1日より前に締結されるクラウド・サービス契約書(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs>に掲載されている条件を適用します。

### 5.1 非実稼働 (Non-Production) に関する制限

「クラウド・サービス」が「非実稼働」に指定されている場合、その「クラウド・サービス」は、お客様の社内での非実稼働活動に対してのみ使用することができます。この活動には、テスト、パフォーマンス調整、障害診断、内部ベンチマーキング、ステージング、品質保証アクティビティ、または公開されたアプリケーション・プログラミング・インターフェースを使用した、「クラウド・サービス」に対する内部使用の追加機能または拡張機能の開発などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。お客様は、「クラウド・サービス」のいかなる部分も、実稼働に関する適切な使用許諾を取得せずに、その他の目的で利用することはできません。

「クラウド・サービス」の「非実稼働インスタンス」のユーザーは、IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo) の使用許諾を有していなければなりません。

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Non-Production インスタンスには、実稼働インスタンスに関して提供される高可用性、または同じ頻度のバックアップは含まれません。パフォーマンス上の理由から、30人を超えるユーザーが、直接間接を問わず、いかなる方法(例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて)でも非実稼働インスタンスを同時に使用することはできません。

IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Non-Production Capacity Add-On の使用許諾が1つ増えると、IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Non Production インスタンスのサイズが増加し、追加の30人のユーザーが、同時に当該インスタンスにアクセスできるようになります。お客様が、IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Non-Production Capacity Add-On を購入することにより、IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Non-Production インスタンスに容量を追加した場合には、追加された当該容量を、後日、別の IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Non-Production インスタンスに再割り当てすることはできません。

IBM Enterprise Asset Management on Cloud Flex Full Access Development Environment (Maximo) Non Production Add-On により、最大5名のユーザーに、当該環境において拡張された制御レベルを備えたりモート・アクセスが提供されます。

お客様は、「クラウド・サービス」の IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Flex Full Access Development Environment Non Production Add-On インスタンスにアクセスするためには、IBM Enterprise Asset Management on Cloud Flex (Maximo) の使用許諾を取得しなければならないものとします。

### 5.2 IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud 製品の制限

以下の製品の使用許諾を受けるすべてのユーザーは、IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo) の同じユーザー・タイプの使用許諾も取得していなければなりません。

- IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Scheduler
- IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Asset Configuration Manager Add-On
- IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Aviation Add-On
- IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Calibration Add-On
- IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud for Managed Service Provider Add-On
- IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Health, Safety and Environment Manager Add-On
- IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Life Sciences Add-On
- IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Linear Asset Manager Add-On
- IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Nuclear Add-On
- IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Oil and Gas Add-On
- IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Spatial Asset Management Add-On
- IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Transportation Add-On



- IBM Enterprise Asset Management (Maximo) on Cloud Utilities Add-On
- IBM Enterprise Asset Management Anywhere (Maximo) on Cloud Add-On

IBM Enterprise Asset Management on Cloud Flex (Maximo) については、お客様は、IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo) と同じユーザー・タイプのユーザー使用許諾を同じ数量、取得しなければなりません。IBM Enterprise Asset Management on Cloud Flex (Maximo) および IBM Maximo Field Workforce Management on Cloud を使用する場合は、お客様は、IBM Enterprise Asset Management on Cloud Flex (Maximo) について、IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo) に対するアクセス権を付与されたユーザーの数量と同じ数量のユーザー使用許諾を取得しなければなりません。

IBM Maximo APM – Asset Health Insights SaaS および IBM Maximo Asset Management Scheduler Plus on Cloud on Cloud については、前提条件があり、IBM Enterprise Asset Management on Cloud (Maximo) の適切なユーザー使用許諾を別途、購入する必要があります。

以下の目的のためだけに「クラウド・サービス」を使用しているお客様または「クラウド・サービス」の以下の機能のみを使用しているお客様は、「クラウド・サービス」の使用許諾は必要ありません。

- サービス要求を入力して、それぞれのサービス要求の状況を表示すること。
- 必要条件を作成して表示する、テンプレートを表示する、および Desktop Requisitions アプリケーション経由で草案を表示すること。
- IBM Maximo Asset Management Scheduler Plus の Graphical Appointment Book アプリケーションの使用。

「クラウド・サービス」が「限定使用」として指定されている場合、ユーザーは該当する「クラウド・サービス」内で最大で 3 つのモジュール(「管理」、「統合」、「セキュリティ」、および「システム」のモジュールを除きます。)のみを使用する資格があります。

「クラウド・サービス」が「高速使用」として指定されている場合、ユーザーは、レポート、記録の読み取り専用ビューの実行と表示、記録の状況の変更、およびお客様に割り当てられた作業オーダーの更新を目的としてのみ、「クラウド・サービス」へアクセスする資格があります。